

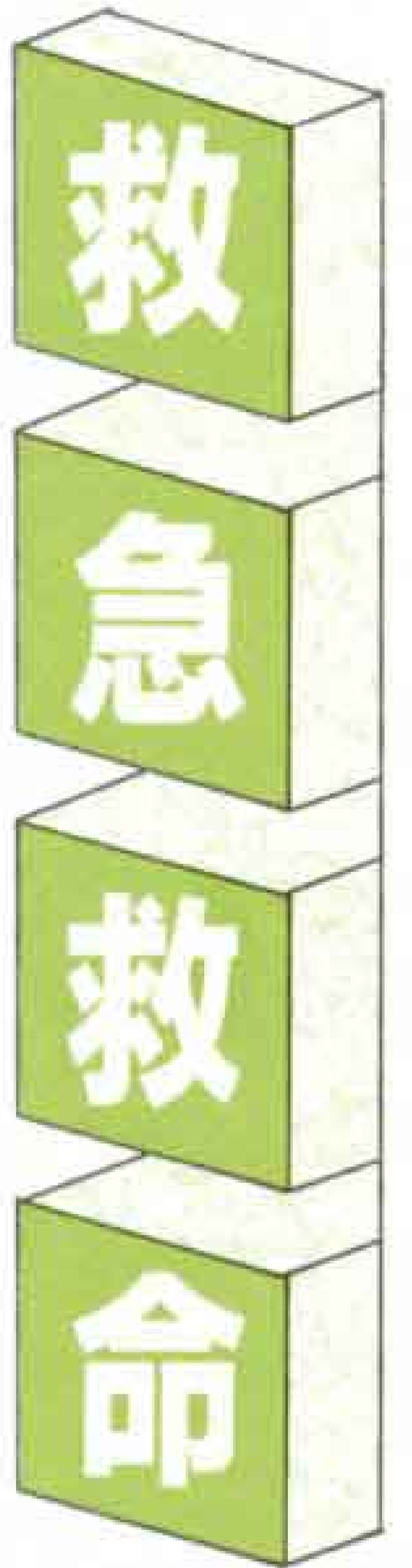


高規格救急自動車が やってきた



高規格救急自動車ってなあに。

内部は今までの救急車より広く、救急隊員が立ったまま救急処置ができます。また救急救命士用の器材として、心臓のけいれんを取り除く「半自動式除細動器」や、気道を確保するための「ラリソールマスク」、そして、体に水分や栄養分を送り込む「輸液用器材」が備えつけてあります。購入価格は、3,200万円。



高規格救急自動車と

初めての救急救命士

富士市で、初めての救急救命士が誕生しました。これは、救急救命士法によって制度化された新しい医療職で、救急車に収容した患者を医師の指示によって、救急車の中で救命活動ができる人です。県下では、静岡、清水、沼津に次いで四番目になります。

国家試験に合格したのは、中央消防署の大村高之さん。救急救命士を養成する東京の研修所で、講義と実習を六ヶ月間。試験に合格してからは、中央病院で三ヶ月の院内研修を受けなければなりません。ですから、実際の活動開始は来年三月ころの予定です。

救命士の誕生にあわせて、新しく高規格救急自動車も購入しました。救命活動を行うためには、なくてはならない高規格救急自動車。今までの救急車にはなかった、救



命処置のできる器材を取りつけてあります。そのほかにも、自動車電話やファックス、患者の心電図を病院などに送る装置、また、振動を防ぐストレッチャーなど、万全の設備です。

消防本部では、これからも救命士を養成します。救急救命士制度が軌道に乗ると、救急車から病院までの間の救命対策はできます。しかし、救命率をもっと上げるには、救急車が現場に到着するまでの最初の五分間がとて大切で、到着までの手当て次第で、患者の救命率はぐんと上がります。応急手当てのできる人をふやすため、消防本部ではこれまでに、職場や地域、学校、施設など、グループ単位で講習会を開いてきました。皆さんも、応急手当ての方法を覚えてみませんか。救急車のサイレンを待っている間の五分間を生かすのは、私たち自身です。

命を救う応急手当て

だれにも覚えられる、簡単な応急手当ての方法を学んでみませんか。去年は、約1,000人が講習会に参加しました。

人工呼吸、心臓マッサージ、止血、掃除機を使ってのどに詰まったおもちを取る方法などは、万 one のとき心強い味方です。

講習は、消防本部警防課（内線3341）へ申し込んでください。

出動は・一日12件

救急車の出動は、緊急の事故や病気が発生したときと、火災でも救助活動が必要になる場合です。出動件数は、一日約12件。この件数は去年に比べると、年間100件近くふえています。

救急車5台に、高規格救急自動車1台がフル稼働。救急車の正しい利用をお願いします。

当直医は・・☎51-9999へ

救急車は・119番

消防職員は、現在234人。このうち救急隊員は、57人です。

救急車を呼ぶときは、次のことを守ってください。

- ①まず、落ちついて。
- ②場所・目標物・名前・どんな状態かを、はっきりと詳しく。
- ③わかりにくい場所のときには、誘導できる案内人を。
- ④救急隊員の指示に従って行動。